

## 『笑顔いっぱい 魅力ある 入新井第一小』を実現する学校経営方針

「笑顔いっぱい 魅力ある 入新井第一小」の学校づくりの実現に向けて、学校としての**中期目標（令和6年度まで）**と**短期目標（令和5年度）**を以下のとおり設定する。目標の実現に向けて、個々の経験や専門性を生かし、組織が一体となって本校の児童の育成に努める。



### 教育目標「自主・自律 健康な心身で協働する子」の育成に向けて 中期目標（令和6年度まで）

#### ◆ 1 子供たちの笑顔があふれる学校

##### ○人権尊重の理念に基づいた指導の徹底

東京都人権施策推進指針に基づきあらゆる偏見や差別をなくす人権教育の徹底を図り、全教育活動において道徳教育を中心とした人権教育を推進する。

##### ○いじめをしない、させない、許さない

児童が主体的に**自他の生命を尊重**し、身近な問題として起こり得るいじめの問題については、「しない」「させない」「許さない」態度を育む。

##### ○自分のよさが分かり、個の可能性を伸ばす

Society5.0の社会を見据え、誰一人取り残すことなく一人一人の可能性を見出し、**自らそのよさを伸ばしていこうとする意欲**を育む教育を推進する。

##### ○仲間と協働的に学べるよさが実感できる

コロナ渦にあって学校での学びの意義や重要性が改めて再認識された。学校でしか**体験できない学び**、**協働的な学びの時間**を充実させ、義務教育段階で身に付けるべき**基礎・基本の徹底**とともに課題解決力を重視する。

##### ○子供たちが安心して過ごせる居場所

「学校・学級、特別教室、校内のどこにいても**安心して毎日充実した時間を過ごせる場所**」子供たちにそう実感してもらえる環境づくりをする。教室に居づらい児童の居場所づくり（校内ステップ・ルーム）を設置し、不登校児童の未然防止を行う。

## ◆ 2 保護者・地域の笑顔につながる学校

○安心して子供たちを通わせることができる

「学びが充実している」「毎日学校に行くのが楽しいと言っている」「学校での子供の成長がよくわかる」等保護者や地域に安心して任せられるよう適切な**情報発信**や**情報交換**を ICT 機器等も積極的に活用して行う。

○子供たちの笑顔のために共に考える

一人一人の発達段階や成長は異なることから、子供の状況に丁寧によりそった相談体制を充実させるとともに**学校と家庭・地域**が子供のよりよい成長のためにできることを**協働的に考える関係づくり**を大切にする。

○保護者・地域とともに協働的な学校運営

学校での学びが家庭や地域で、家庭や地域での学びが学校で、双方向に生かされることが子供のより健やかな成長につながることから、地域や保護者の意見も反映させた**協働的な学校運営**を行う。

○子供を守り、地域活動の拠点としての機能

地震・風水害等の自然災害や感染症対策、食物アレルギーへの対応や事件・事故等様々な危機管理から**子供を守る安全教育**の徹底と新たな校舎・複合施設としての機能を見通し、地域活動の拠点として関係機関との連携を重視する。

## ◆ 3 教職員に笑顔をもたらす学校

○自己の専門性が生かせる体制と充実した働き方

教職員個々の専門性や得意分野を生かした校務分掌を推進することにより、校務の効率化と平均化を図り、充実した教育活動が行えるようにする。教職員も自己の健康管理を徹底し、**職務に専念できる良好な環境と組織体制**を作る。

○新しい教育課題（STEAM 教育の実践）に向けた指導力等スキルアップの機会（研究と修養）の充実

○教職員一人一人の強みが生かされ、組織横断的に課題解決にあたる**チーム力の向上**



## 教育目標「自主・自律 健康な心身で協働する子」の育成に向けて 短期目標（令和5年度）

### 1 教職員のキャリアアップ・人材育成の視点

#### (1) 学習指導

●学習指導要領に則り、児童の**主体的・対話的で深い学び**につながる授業の充実と**適切な評価**を行う。

○初等教育で身に付けておくべき**基礎・基本の徹底**について、ICT 機器等を適切に活用するなどし、**協働的に問題を解決する能力と自律的に学ぶ力の育成**を図る。

#### (2) 生活指導

●すべての児童が安心・安全に過ごせるよう、集団生活における**規律が保たれる指導**を徹底する。発達段階や個の状況に配慮が必要な児童、**特別な支援が必要な児童への理解と指導方法の理解**を深め、適切な生活指導が行えるようにする。

○人とのかかわりの中で**挨拶等基本的な生活習慣を徹底**するとともに、発達段階に応じて**自己指導力や自尊感情・自己肯定感を高める指導**を充実する。

#### (3) 外部との連携・折衝

●保護者の立場に立って子供の成長の様子を適切に情報提供したり、大田区の特色ある教科「**おたの未来づくり**」のカリキュラム構築により児童にとって魅力ある授業を展開するために地域の事業者や施設、人材等を積極的に活用したりし、**社会に開かれた教育課程の実現**につなげる。

○教育委員会や区の関係機関との連携を密接に行う。

#### (4) 学校組織として

●管理職、教員、事務職員、栄養士、スクールカウンセラーなど職及び職層に応じた責任ある職務の遂行を行うとともに、学校が直面する課題について各々が自覚と責任をもって**組織的に対応**に当たれるよう組織力の向上を図る。

## 2 学校での取組の視点

### (1) 学習指導

- 一人一台タブレット端末等 ICT を効果的に活用し、**多様性と調和を重視した協働的な学びと自律的な学び**の充実を図り、課題解決力を伸ばす。
- 一人一人の学ぶ意欲や学んだことを生活（社会）に生かせる力を伸ばすとともに、個々の**分かり方の特性に合わせた指導の工夫と肯定的評価**を重視する。

### (2) 生活指導

- 自立を育む学校生活のルールを徹底し、だれもが安心して学校生活が送れるよう**丁寧な指導**を行う。
- 学校として発達段階に応じた**学習・生活規律の一貫性をもたせた生活指導**（「入っ子スタンダード」の徹底）を行う。特に、基本的な生活習慣の中でも挨拶や身の回りの整理・整頓、清掃活動等毎日の学校生活で繰り返し、継続的に行う取組の全校での**凡事徹底**。
- SC、SSW、警察、区役所等関係機関と連携した課題解決と組織力の向上を図る。

### (3) 外部との連携・折衝

- 学習指導要領と関連した教育活動の取組にあたって、**児童の豊かな心の育成につながる体験的な活動の充実**や教科「おおたの未来づくり」の教科設置に向けた地域資源（人・もの・環境）を活用した教育カリキュラムの開発・研究を継続して行い、児童にとって魅力ある学習活動を展開する。

### (4) 学校運営として

- 児童が主体的に取り組める**新たな企画や提案**，各分掌での新しい取組等前例踏襲によらない取組にチャレンジし推進する。
- 自己の専門性や得意分野を生かし，学年または学年を超えて教科担任制の取組や OJT 研修等を通して組織力の向上を図る。

### 3 家庭・地域の視点

- 学校における教育活動の成果や必要な連絡等の説明、広報については、インターネット配信等のデジタル化をより一層進め、紙媒体の削減やリアルタイムの情報発信にさらに努める。
- 特別な支援を要する児童や学校に行きづらさを感じている児童に対して、保護者や地域の関係機関等と連携し個に応じた適切な支援や環境の提供を行う。
- 家庭や地域の願いを学校運営に反映するとともに、**新校舎完成までの1年半の見通しを共有し、地域と学校が協働的な取組**ができるよう推進する。
- 地域の宝である子供たちが地域活動へ積極的に参加し、社会とのつながりを感じながら健全に育成されるよう情報交換や支援を行う。

### 4 大田区の教育方針につながる取組

- コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力など未来社会を創造的に生きる子供の育成に向けて、学校の特色や地域性を生かした取り組みを充実させていく。特に学習指導要領の目指す**情報活用能力の育成やSTEAM教育（教科 おおたの未来づくり）の充実に向けて**校内における研修や研究を充実させる。
- 大田区学習効果測定**の結果から成果と課題を分析し、学校全体の指導の改善につなげていく基礎的なデータとして適切に活用していく。
- 情報化が進む中であって、ますます豊かな人間性や人間力として魅力ある人材の育成が求められる。学校と家庭・地域が一体となって情報モラル教育やいじめ問題を軽視しない態度や心の育成につながるよう**道徳教育の充実**を図っていく。
- 持続可能な社会づくりにおいて環境教育等科学的な見方・考え方を深めるための理科教育の充実につながるよう理科教育推進拠点校として理科指導専門員を生かした研修を行う。また、STEAM教育の研究開発を継続してすすめる。
- 極小校庭でありながら工夫した取組により、**令和3年度は東京都「子供の体力向上推進優秀校」**に表彰された。本年度も発達期にある児童が健やかに成長できるよう基本的な運動習慣の定着や身体を十分に動かす楽しみを味わえるような近隣地域や学校施設等を生かした運動の機会と場の確保を行う。また、区で開催の**小学校駅伝大会**等運動の目標を明確に持たせ、スポーツの機会をきっかけとして、自信ややる気の向上、心身の安定につながるようする。
- 限られた敷地と学校施設であっても児童が**安心・安全**に過ごせるよう学校運営を行うとともに、家庭や地域の協力も得ながらよりよい教育活動が進められるよう関係構築を重視する。

大田区立入新井第一小学校長

令和5年4月1日